



スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行/秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916

第44回日独スポーツ少年団同時交流 受入事業 東成瀬村

今年で44回目を迎える本事業は、毎年夏に日独両国のスポーツ少年団員（ドイツはスポーツユーゲントと呼ぶ）が相互に訪問し、スポーツや研修を通じて国際交流を深めている。秋田県は東北Iグループ（北東北3県）として受け入れを実施している。

- 期 日 8月1日～5日
- 受 入 東成瀬村
- ドイツ団 ホルシュタイン州
- 主な内容：歓迎セレモニー、栗駒山トレッキング、紙すき体験、パークゴルフ、茶道、押し花体験、野菜収穫体験、高校生とのディスカッション、さよならパーティー

担当者の感想

心通わせた夏

東成瀬村教育委員会 船山利佳

昨年の夏、ドイツホルシュタイン州から、指導者1名と団員7名の派遣団を東成瀬村で受け入れました。東北Iグループ（岩手・青森・秋田）では、秋田県が最終県でした。

滞在期間中は、栗駒山のトレッキングやパークゴルフ、トマトの収穫など東成瀬村の自然と新鮮さを味わい、紙漉き体験や押し花、茶道体験などをしながら、小中学生と交流を楽しみました。パークゴルフは初めてのわりには上達も早く、さすがはスポーツ少年団員という感じがしました。また、物を作るような細かい作業は好きなようで、和紙のうちわ作りに夢中になり、それぞれが日本とドイツの国旗や桜の花など、交流を意識した絵柄でうちわを完成させました。ドイツで食べる野菜は、漬けたものがほとんどで、新鮮な野菜や果物を口にすることが少ないのだそうです。トマトを収穫し、その場で食べる経験はとても貴重だったようです。



一番心配していたプログラムが「私たちにできるフェアプレイ」をテーマにした高校生とのディスカッションでした。しかし、スポーツのフェア、アンフェアについてのレクリエーションや、ドイツ団のパント

マイムなどを通して、お互いの考えを出し合うことができました。国や言葉、食文化は違っても、フェアプレイについては、世界共通認識であることを改めて知ることができました。なかなか言葉は通じなくても、様々なコミュニケーションをとることで、心を通わせることができると感じた瞬間でもありました。



また、日本のお祭りを見たいという希望から、急遽、秋田市の昼竿灯にもでかけました。暑い中でしたが、日本伝統の祭りを見学し、ミニ竿灯を持つ体験や記念撮影をととても喜んでくれました。さよならパーティーでは、言葉の壁を越え、参加者が和気藹々とバーベキューを楽しみ、ダンスや花火などで盛り上がりました。

最終日、ホストファミリーがドイツ団の見送りをしました。名残惜しく話している様子に、わずか2泊3日のホームステイでも、ホストファミリーの温かいおもてなしに、親しみを感じてくれていたのがわかり、この事業を受け入れて良かったと強く思いました。

ドイツの青年たちは様々な体験をし、多くの思い出を胸に刻んでくれたものと思っています。私自身も様々なトラブルやハプニングの対応に追われる毎日でしたが、自分自身を成長させる機会となり良い思い出となりました。東成瀬村にとっても、国際交流の観点から大変貴重な機会であり、受け入れに対し多くの皆様からのご協力に感謝したいと思います。そして、今後もこの事業により、両国の有意義な交流が続きますことを心から祈念しています。



第44回日独スポーツ少年団同時交流ホストファミリーの感想

最大の収穫は！

千田 優子



「出川英語で何とかなるべ?!」こんな軽い気持ちでホストファミリーを引き受けてしまった我が家。18歳と21歳の二人は、ドイツ語を勉強していなかった我々の片言の英語を熱心に聞き、理解しようと努めてくれた。また、一度で聞きとれない私たちが聞き返す度に、丁寧に説明してくれて会話を楽しむことができた。本当に有り難かった。

ふれあいの中心は夕食と朝食の時間。そこで何をふるまうかは大きいポイントだった。食を通じて学ぶことが多かったように思う。加工したものより素のものを食す傾向にあり、気を遣いながらも、食べられるものをじっくり食べるという姿勢がさわやかに見えた。

今回の経験で得た最大の収穫は、中学2年生の娘の意識の変化である。「私も外国へ行ってみたいになった。」親が片言英語で奮闘する姿に「言葉の壁は意外にも何とかなる」と感じ、可愛い客人とのふれあいから世界を広げてみたいとなったようだ。ダンケゲート！



「UNO」で楽しく国際交流

谷藤 ユミ子



日独スポーツ少年団同時交流事業にホストファミリーとして関わることができました。私の家に泊まった子は、柔道、サッカーなどのスポーツが大好きな16歳の男児でした。

我が家にも、スポーツ(野球)が好きな男孫が三人いたこともあり、異文化に触れることが出来る絶好のチャンスと思い、喜んで民泊を引き受けました。

孫たちの様子を見てみると、英語(単語)を話す以前に、コミュニケーション能力不足を感じました

が、一緒に生活することによりどんどん気持ちが通じていった様です。

ユリウス君と家族みんなでトランプ遊び(UNO)をしたり、刺身が大好きということで手巻き寿司をして盛り上がりました。もう少し長い期間一緒に過ごすことが出来たならば、日本の生活、習慣も多く体験してもらえたように思えます。それより何よりも英語苦手の私、孫が構えず話すことに挑戦し、コミュニケーションがとれたと実感出来ました。



ドキドキそしてホッ！

谷藤 怜子



迎えるまではドキドキ、見送りしてホッとしたというのが本音です。

日本のおもてなし料理をいろいろ考えていたのですが、歓迎式に行ったら野菜とスイカしか食べなかったのびっくりしました。

何十年も使ったこともない英語を思い出しながら、訛りのある単語を話しても「アイ、ドントノー」と言われてしまいました。若い人たちがスマホで対応してくれたので助かりました。

泊まりの一日目は、折紙、ほたる、花火。二日目は一日早いバースデーをやってケーキとプレゼント、太鼓。

私とは言葉こそ通じなかったけれど、心は少し通じ合えたところがあったのかなと思っています。

私の反省点は、事前にドイツ語(簡単な単語)や食事・風習などを勉強しておけばよかったと思っています。また機会があればホストファミリーをやりたいです。



第52回認定員等再研修会・県指導者研究協議会

● 期日：12月9日(土) ● 会場：青少年交流センターユースパル ● 参加数：33名

昨年度に引き続き、認定員再研修会を兼ねて ACP の研修が行われた。前半は子どもたちの体力低下や二極化等の現状、課題を理解し、対策として ACP の重要性を講義で学んだ。

後半は、遊びの要素を多く取り入れた各種運動遊びの実技研修をとおして、実際に指導を行う場合のポイントを学んだ。低年齢層が興味を持って取り組めるようなバリエーションや、新聞紙を使った手軽な手づくり用具なども紹介され、すぐに現場で使えるアイデアが提供された。講義、実技とも、前年度普及講師講習会を受講した畑山幸代氏が講師を担当した。



第51回認定員等再研修会（中央会場）

● 期日：12月3日(日) ● 会場：男鹿市総合体育館 ● 参加数：31名

県内のスポーツ少年団指導者及び関係者が一堂に会し、次代を担う子ども達の健全育成のために、資質の向上を図ることを目的として開催した。講師は聖霊女子短期大学准教授 長嶋智子氏をお招きし、「ジュニア選手の食事と栄養」と題し、研修会を行った。男鹿・潟上・南秋スポーツ少年団指導者研修会を兼ねていることから、参加者は男鹿・潟上・南秋地区からの指導者が多数であった。研修会では、「食事」という部分を疎かにすることは、様々な面において悪影響を及ぼすことなど、「食事」の重要性について再認識する良い機会となった。



第50回認定員等再研修会（県南会場）

● 期日：12月2日(土) ● 会場：大仙市ふれあい文化センター ● 参加数：81名

講師に畑山幸代氏をお招きし、「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及促進研修会 in 大仙」を開催した。理論編の講義では、幼児期の個人差に対応し、バリエーションを増やすなど活動の質を考える大切さを学んだ。実技編では、アイスブレイクや準備運動も歌にのせて行ったりと、序盤から受講者の笑みがあふれる内容だった。新聞紙で作成したボール投げ、ペットボトル等を使用したサーキット遊びなど、身近な物を使用した遊びも体験できた。また、組づくりゲームでできたグループでリレーやゲームを行う際には、参加者が互いに声を掛け合う様子が多々見られ、楽しみながら体を動かす、大変実りの多い研修会となった。



第49回認定員等再研修会（県北会場）

● 期日：11月19日(日) ● 会場：大館市立中央公民館 ● 参加数：89名

11月19日(日)大館市立中央公民館を会場に、スポーツ少年団認定員等再研修会が開催され、県北地区を中心に、県内各地から約90人が参加しました。

内容は、秋田県スポーツ少年団指導者協議会運営委員長小笠原重夫氏による、スポーツ少年団活動での暴力根絶をめざし「日本スポーツ少年団登録者処分基準の概要について」と題しての講演。そして、日本体育協会公認スポーツドクター 関展寿氏から、スポーツ障害の予防のための「成長期の運動器とスポーツ傷害」と題しての講演で、2人の講師から指導にあたって注意すべき点を学びました。

県北から参加したという育成母集団の方は、「スポーツ少年団に係っていくうえでためになるお話が聞けてとてもよかった。機会があったらまた参加したい」と話していました。



秋田県スポーツ少年団リーダー会 活動紹介

スポーツ少年団の「リーダー」とは、単位団において自らも団員としてスポーツ活動するほか、指導者と協力して団を育てていく役割を担っています。秋田県スポーツ少年団リーダー会は、中学生～24歳の団員及び指導者を対象に会員を募り、研修や交流を深める活動をしています。約50名の会員が年間を通して活動しています。

3月 リーダーの集い

中学生以上を対象に、リーダー会会員と参加団員が交流したりリーダー活動についての理解を深めたりします。リーダーからの日独同時交流の体験や、北海道・東北ブロック研究大会の報告やレクリエーションゲームの実技をとおしてスキルアップを図ります。前年度は「リーダー会に興味を持った」と全員からアンケートの回答がありました！



5月 総会

事業計画の審議や役員の選出、メイン行事である「ジュニア・リーダースクール」の打ち合わせ等を行います。

7月 ジュニア・リーダースクール兼秋田県スポーツ少年大会



リーダー会の最も大きな事業です。小学5年生～中学生を対象に、田沢湖スポーツセンターで2泊3日の日程で行われました。スポーツ活動やリーダーについての講義に取り組み、集団生活を通して参加団員の交流を深めながら研修します。プログラムはリーダー会の企画、指導、運営によるもので、安全に楽しく取り組んでもらえるよう準備していきます。駒ヶ岳登山やキャンプファイヤー、運動会が人気。苦労もありますが参加団員の笑顔が励みになり、がんばれます。

8月 シニアリーダースクール

静岡の国立中央青少年交流の家を会場に、4泊5日の研修を行います。リーダーに必要なスポーツの基礎知識を学び、実際に子どもたちを対象に自分たちが考えたレクリエーションを指導したりしてスキルアップを図ります。全国にたくさんの仲間ができるのも魅力です。今年度は矢部太陽さん(にかほ市)が参加しました。この資格は日独同時交流派遣の基礎資格になります。



8月 日独交流派遣・受入

ドイツのスポーツユエントと日本のスポーツ少年団員がお互いに訪問しあい、スポーツや研修、ホームステイを通して交流を深めます。今年度は工藤毬乃さん(大館市)、金野純さん(能代市)が派遣されました(詳細は前回広報)。また、東成瀬村の受け入れでは、ディスカッションのプログラムに参加しました。

10月 全国リーダー連絡会

国立オリンピック記念青少年総合センターに各都道府県のリーダー代表が集まり、活動報告や意見交換、「2020年東京オリ・パラに向けた全国リーダー・アクションを考えよう」という講義などが行われました。本県からは鈴木葵さん(湯沢市)が参加し、全体司会を担当、地方ブロックの情報交換では有意義な交流が深められました。



10月 北海道・東北ブロックリーダー研究大会

この事業は北海道と東北6県を毎年輪番で開催され、今年は秋田県で行われました。



本県の社会人リーダーが講師を務め、講義や実技研修、情報交換を行いました。各自のスキルアップやリーダー会の活動をよりよいものにするために、若手からベテランまで熱心に意見交換し、充実した内容となりました。



各団、市町村でリーダーの育成をお願いします！小学生で終わらずに登録を継続し、学校の部活優先でもOK、リーダー活動を続けてみましょう。まずはジュニア・リーダースクールへ参加！子どもたちは遅く成長します！

リーダーに関するお問い合わせ
秋田県スポーツ少年団
TEL.018-866-3916

第40回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

9月以降は6種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



- ラグビー 9月23日～24日(大潟村ラグビー場)
- 参加数 10団、310名
- 優勝【高学年】Aブロック: 脇本おいばなラグビースポーツ少年団
Bブロック: 飯島ラグビースポーツ少年団
Cブロック: 出戸浜・船川第一合同チーム
- 【中学年】Aブロック: 脇本おいばなラグビースポーツ少年団
Bブロック: 高清水Aラグビースポーツ少年団
Cブロック: 飯田川・大館・出戸浜合同チーム
- 【低学年】飯島・脇本合同チーム



- 卓球 12月2日(県立体育館)
- 参加数 30団、460名
- 優勝 男子 県南卓球道場
女子 西目A



- ミニバスケットボール
- 1月6日～9日(県立体育館・CNAアリーナ★あきた)
- 参加数 55団、1,110名
- 優勝 男子 能代ブルーインズミニバスケットボール
女子 森岳



- スキーアルペン
- 1月20日～21日(矢島スキー場)
- 参加数 78名



- スキークロスカントリー 2月17日～18日(たざわ湖スキー場)
- 参加数 158名



- スキージャンプ 2月24日～25日(花輪スキー場)
- 参加数 17名



お弁当の配達承ります。

会議、研修会、各種スポーツ等

650円より様々な種類のお弁当をご用意しております。

※配達には10個からとさせていただきます。

歓迎会、送別会

ご予算に応じて承ります。

お食事だけでもご利用頂けます。



青少年交流センター
有限会社 県庁食堂

レストランユースパル

秋田市寺内神屋敷3-1
TEL. 018-880-2310
FAX. 018-880-2319



目ざせ世界の頂点!



がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする
松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760(代)
FAX 018-863-0005
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>
E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

雄和女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(秋田市) バスケットボール 14名(小3~小6) 雄和小体育館 佐々木学
秋田市立雄和小学校 6年 鎌田 遙香

私たち雄和女子ミニバスは、去年4つの小学校が合やいし、今年で2年目となります。去年は人数が多かったのですが、今年はい人でのスタートでした。その後、新入部員も増え、最後の大会では14人となりました。夏の大会では2回戦負け。秋の大会に向け、きそを見直し、簡単なミスをしないため、日々の練習をしました。秋の大会は1回戦負けという結果になりましたが春や夏の大会より、ミスをへらし、シュートの精度も上げることができました。そして選手ひとりひとりが力を発揮し、戦うことができました。私たちはいつも全県大会出場を目標に頑張ってきました。私たちはかなわなかったけどこうはいたちは、頑張っています。



由利サッカースポーツ少年団(由利本荘市) サッカー42名(小2~小6) 由利小学校グラウンド 阿部一彦
由利本荘市立由利小学校 5年 加藤陸人

由利サッカースポーツ少年団は、小2から小6の42人で活動しています。学年をこえてみんなでもなかよく元気に練習にはげんでいます。コーチ達はもちろん、お父さん達にも由利でサッカーをしていた人が多く、試合や練習の時にいろいろアドバイスをしてもらえてとても参考になります。また、横浜の今宿SCというチームとは何年も前から交流があり、夏には今宿が由利へ、年末にはぼくたちが今宿に遠征に行くという毎年楽しみにしている団活動もあります。春になると本格的に試合や大会が始まります。今年は去年よりも結果を残せるように、1つ1つの試合を大事にして、必ず勝てるように力を合わせて頑張りたいです。



山内スポーツ少年団(横手市) 複合 75名(小2~小6) 山内小学校 土谷ス男
横手市立山内小学校 6年 吉谷朝陽

僕達山内は野球、サッカー、ミニバス、南郷、スキーの種目で地域の人達に応援してもらい活動しています。僕は野球の団員として基本となるキャッチボールやトス、守備も主にがんばっています。チームの良い所はエラーをしても声をかけあいカバーする所です。中々勝つことは出来なかったけど最後の秋季大会で準優勝し、カップをもらえた事が一番の思い出です。自分達をたくましくする時間をかけて教えて下さった監督、コーチを練習の協力をしてくれた父さん達、カレーやコン汁、弁当を作ってくれた母さん、応援してくれた祖父母への感謝も忘れずにこれからも色々な事に挑戦して仲間と仲良く頑張っていきたいと思えます。





汚れ

消しゴムの汚れが目立たず、キレイに使えます。

消しゴムモノ PE01 ブラック63円(本体価格60円)



汚れに強いブラックボディ



消しグズ

紙面上の消しグズが見やすく、処理が容易です。

消しゴムモノ PE04 ブラック105円(本体価格100円)

MONO

株式会社トンプ鉛筆 <http://www.tombow.com>

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

今できること

西馬音内剣道スポーツ少年団

指導者 渡部 良浩

暑い日も寒い日も、「感動の一本を求め」日々の稽古に励んでいる指導者、団員、そして支えてくださる保護者の方々の協力にいつも感謝しております。

最近の技術指導は細やかで才能を引き出す力があり、子ども達にはたいへん嬉しいことだと思いますが、精神面の教育は時代時代での難しさが残されているように感じます。

私達は礼儀礼節を重んじ、現在3年生から6年生までの18人の団員が仲間を大切に日々精進していくことで、各種大会においても個人・団体共に優勝するなど好成績を収めています。

勝利至上主義にならないようこれから指導者、保護者、団員が一段と団結し、さらに団員の良き理解者と成れるよう研鑽を積み、剣道の美しさ楽しさを体感できるよう務めてまいります。



地域の片隅で頑張っています

大館市トランポリンスポーツ少年団

育成母集団 黒田 菊乃

トランポリンは色々な運動の素養作りに適しており、県内では大館市を中心に活動しています。団員は園児から高校生まで約50人、母集団員も約30人で、4グループに分かれて活動しており、有浦ポリンズもその1つです。

年間行事は大会が2回、バッジテストが2回です。昨年の大会で私たちの『有浦ポリンズ』から6名が入賞し、更に表彰台も独占しました。普段の練習の成果です。また、昨年10月には福島県で開催された東北6県のオープン大会にトランポリンスポ少から出場し、総合で2位となりました。日頃の練習や地元での試合の運営のため準備や片付けなどで苦労もありますが、それも吹き飛ばす喜びでした。

以前は大館少年自然の家で子供たちと一緒に合宿や日帰りのレクで親同士の交流を深めたりしていましたが、最近はその仕事の忙しさがなかなかありません。また復活できればと思っております。

子供たちの知らず知らずの成長に驚きながら、親も一緒に成長していこうと思っております。



お客様の「困った」を全力で解決します！

INEX

-Since 1948-
株式会社

アイネックス

<http://www.inecx.co.jp>

パソコン専門店

COM

- 本社：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- 建装事業部：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- IT事業部：〒010-0041 秋田市広面字鍋沼37
- 能代営業所：〒016-0864 能代市字鳥小屋32-5
- 大仙営業所：〒014-0047 大仙市大曲須和町2-2-20

- Tel 018-887-5560 Fax 018-835-5666
- Tel 018-836-0330 Fax 018-835-5666
- Tel 018-831-3131 Fax 018-831-2211
- Tel 0185-55-3780 Fax 0185-55-3750
- Tel 0187-62-6630 Fax 0187-62-6610



東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

●柔道

期日：12月2日～3日 会場：岩手県武道館
小学生男子は小友スポーツ少年団、中学生男子は御野場石川道場スポーツ少年団、小学生女子は小友スポーツ少年団、中学生女子は小町柔道クラブスポーツ少年団が出場しました。

●ミニバスケットボール

期日：3月10日～11日 会場：秋田市CNAアリーナ★秋田・県立体育館
男子は向能代ストーンズスポーツ少年団、牛島男子バスケットボールスポーツ少年団、大住男子ミニバスケットボールスポーツ少年団、女子は川尻女子ミニバスケットボールスポーツ少年団、豊川ミラズスポーツ少年団、秋大附属小女子ミニバスケットボールスポーツ少年団が出場します。

全国スポーツ少年団競技別交流大会

●サッカー

期日：12月26日～29日 会場：鹿児島県鹿児島ふれあいスポーツランド他本荘南サッカースポーツ少年団が出場しました。

●剣道

期日：3月25日～27日
会場：東京都東京武道館
大館市桂城少年剣友会スポーツ少年団指導者1名、小学生5名が出場します。

●バレーボール

期日：3月25日～28日 会場：群馬県ALSOKぐんまアリーナ
大仙市大曲ウイングスJr.スポーツ少年団指導者1名、団員12名が、2年連続で出場します。

第3日曜日は全県一斉活動休止日

秋田県スポーツ少年団活動の新指針により、平成30年4月から、第3日曜日は原則として全県一斉の活動休止日となります。

第3日曜日は休養日として過ごすほか、家族で過ごす時間、地域活動や文化学習に取り組む時間にするなど、子どもたちや家族にとって豊かな休日となるよう取り組みましょう。

認定員養成講習会

29年度実績

| | 前 期 | | |
|----|----------|-------------------|------|
| | 期 日 | 場 所 | 認定者 |
| 県北 | 6/10～11 | 大館市(タクミアリーナ) | 165名 |
| 中央 | 6/24～25 | 由利本荘市(西目公民館シーガル) | 103名 |
| | 5/27～28 | 秋田市(秋田テルサ) | 78名 |
| | 6/3～4 | 秋田市(秋田県社会福祉会館) | 143名 |
| | 6/10～11 | 秋田市(秋田県社会福祉会館) | 142名 |
| | 6/24～25 | 秋田市(秋田市文化会館) | 110名 |
| 県南 | 5/27～28 | 横手市(浅舞公民館) | 61名 |
| | 6/3～4 | 湯沢市(湯沢雄勝広域交流センター) | 48名 |
| | 後 期 | | |
| | 期 日 | 場 所 | 認定者 |
| 県北 | 11/18～19 | 能代市(能代市文化会館) | 112名 |
| 中央 | 10/28～29 | 秋田市(秋田市文化会館) | 92名 |
| | 11/25～26 | 秋田市(秋田市文化会館) | 146名 |
| 県南 | 11/11～12 | 大仙市(大曲交流センター) | 138名 |

30年度開催日

| | 前 期 | | |
|----|----------|------------------|--|
| | 期 日 | 場 所 | |
| 県北 | 6/9～10 | 大館市(大館市立中央公民館) | |
| 中央 | 5/26～27 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| | 6/9～10 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| | 6/16～17 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| | 6/23～24 | 由利本荘市(西目公民館シーガル) | |
| | 6/30～7/1 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| 県南 | 6/2～3 | 横手市(浅舞公民館) | |
| | 6/16～17 | 湯沢市(湯沢文化会館) | |
| | 後 期 | | |
| | 期 日 | 場 所 | |
| 県北 | 11/10～11 | 能代市(二ツ井公民館) | |
| 中央 | 10/20～21 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| | 11/17～18 | 秋田市(秋田市文化会館) | |
| 県南 | 10/27～28 | 大仙市(大曲交流センター) | |

訃 報

秋田県スポーツ少年団副本部長
佐々木 政義 氏 平成29年11月1日 逝去
永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されました。
ご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

スポーツ安全保険[®]

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保 険 期 間 平成30年4月1日の午前0時から平成31年3月31日午後12時まで

4名以上の団体・グループで加入ください。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部**

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5
秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360**

電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全保険 検索

インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



携帯電話から資料請求ができます。

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。